

提案団体名：うめきた2期地区開発事業者(代表:三菱地所)

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等  
 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
<p>・当地区は、西日本最大の交通ターミナルであるJR大阪駅と業務・商業の都市機能の一大集積地である梅田地区に隣接し、関西国際空港と直結するJR東海道線支線の地下化・新駅設置等の基盤整備やなにわ筋線の事業化に向けた検討も行われており、関西の中核拠点として、「アジアのゲートウェイ」としての機能が飛躍的に強化されることが期待されるなど、非常に高い立地ポテンシャルを有したエリアである。</p> <p>・関西には伝統産業や先端技術まで幅広いものづくり産業・技術の蓄積があり、近年ではけいはんなや彩都など国際競争力を持つ環境・エネルギー、医療・バイオ分野の産業クラスターが形成され、優れた大学や研究機関等が集積し、様々な連携が進んでいる。さらに、大阪に加え、京都、奈良、神戸など歴史・文化の蓄積の厚い世界に誇る観光都市とも近接し、豊かな日本文化を一度に体感できる強みも有する。当地区は関西圏の中心に位置し、広域的な交通ネットワークにより、これらの拠点や都市と結ばれる。</p> <p>・こうした前提の中、都市における自然との共生、地球環境問題の解決や大規模災害への対応など今日的な課題への解決策を提示することはもとより、合理性、経済性を重視してきたこれまでの都市づくりのパラダイムを超えた新しい未来のまちのあり方の提案として、当地区においては「みどり」をまちづくりの中心に据え、未来に向けた都市や人間と自然、環境との新しい関係性を構築し、比類無き魅力を備え、都市の文化となる新しいまちづくりを検討する。この「みどり」が、大阪の都市の格、まちの魅力を高め、大阪を世界水準の都市空間を持つ国際都市に引き上げるトリガーとなり、周辺地区のみならず広域的な都市構造に影響を波及させ、大阪の新しい都市の文化として発信し、これからのまちづくりを先導する。</p> <p>・また、当地区の優れた立地ポテンシャルを活かして、関西のイノベーション創出の総力を束ね、連携の結節点となるような拠点をめざす。世界に比類無き魅力を備える「みどり」が、世界中から資本、優秀な人材等を集積させ、都市や環境と人間の新しい関係性の中から創造的・革新的な変化(イノベーション)を生み出し、関西ひいては我が国に新たな国際競争力をもたらす。</p> <p>・本計画にはまちづくりのノウハウを有するデベロッパーやゼネコン、インキュベーション施設の運営を得意とする企業、エネルギー関連企業など各種プレイヤーが集めたコンソーシアムを組成しており、各社のエリアマネジメントに関する知見を広大な都市公園を抱える本計画において集合させることで、新たなスマートシティ像が生み出されることが期待される。</p> <p>・本計画に携わる企業も多く参画する隣接地区のグランフロント大阪においても、来場者数は1日平均15万人となるなど多くの方をまちに迎え活気を与えるとともに、企業や大学・研究機関など5年間で322者が参画し、会員制のナレッジサロンでは会員数が累計約4,700人となり、これまで約70万人に利用され、また、海外からの注目度も高く、73カ国366団体が視察に訪れるなど、国内外を問わず多様な人々が集積しさまざまなコラボレーションの成果が生まれる場となっている。</p>	<p>(7) エリアマネジメントに関する知見</p>

(2)(1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ  
 ※課題については、別紙2の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>当地区では、世界の人々を惹きつける比類な魅力備えた「みどり」と新たな国際競争力を獲得し世界をリードする「イノベーション」の拠点を備えた「みどり」と「イノベーション」の融合拠点を旨す。</p>	
<p>■「みどり」と融合し価値を創造・発信するイノベーション」          ・新産業創出、国際集客・交流、知的人材育成などの中核機能の整備          ・質の高い環境を整える都市機能の整備</p>	
<p>■「みどり」を体感できる空間づくり          ・地区全体で「みどり」を体感することができる空間形成を図る。</p>	(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)
<p>■歩く楽しみ・喜びを創造するまちづくり          ・当地区全体を「歩行者中心のまち」とし、自由に楽しみながら移動できる周辺地域と連続的なネットワークや回遊性のある歩行者ネットワークを形成する。</p>	(カ) (キ) (ク) (ケ)
<p>■速やかに災害から復元するまちづくり          ・大規模災害にも対応したレジリエントなまちの実現          ・自立型エネルギーインフラの導入          ・周辺地域も含めたBCPへの対応</p>	(コ) (サ) (シ)
<p>■環境共生の新たな展開をめざしまちづくり          ・最先端環境技術の導入          ・災害時のBCP対応を兼ね備えた環境負荷の少ないエネルギーシステム          ・環境価値の可視化と発信</p>	
<p>■持続的発展をめざしたエリアマネジメント          ・質の高い「みどり」の運営管理          ・地区の競争力を高めるエリアマネジメント          ・可変性・拡張を備えたエリアマネジメント</p>	
<p>■周辺ともに地域全体の価値を向上させるマネジメント          ・隣接地区への「みどり」のまちづくりの波及          ・周辺地域や都市拠点と連携するまちづくり</p>	
<b>(3)その他</b>	
<p>・本計画は、三菱地所株式会社、大阪ガス都市開発株式会社、オリックス不動産株式会社、関電不動産開発株式会社、積水ハウス株式会社、株式会社竹中工務店、阪急電鉄株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、うめきた開発特定目的会社のコンソーシアムにて事業を行う。</p>	

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
関西支店	神林祐一	080-8085-0532	<a href="mailto:yuichi.kanbayashi@mec.co.jp">yuichi.kanbayashi@mec.co.jp</a>